



# 浜っ子

発行 カトリック浜寺教会  
高石市羽衣 2-2-27  
TEL 072-261-1563  
FAX 072-261-1594

2021年1月号 (2020.12.27 発行)

## 「どんな時にも“感謝”したい」

ジュアン神父



みなさま こんかいかんとうげん かんしゃ しつもん おも  
皆様、今回巻頭言のテーマは感謝です。まずこんな質問をしてみたいと思います。

みな さいきんかんしゃ いそが ひび なか おお かか  
「皆さん、最近感謝していますか？」。あくせくした 忙しい日々の中でストレスを多く抱えがちな

げんだいじん いか かん ふあん かん おお  
現代人は、“ありがとう” よりも“怒り”を感じたり、“不安”を感じたりすることのほうが多いのでは

ないでしょうか？また、あたりまえのように物や情報が 溢れた状況下では、知らず知らずの内に「感謝する心」に

鈍感になってしまっているのではないのでしょうか？

じっさい かんしゃ いの かみさま かんしゃ うちゅう かんしゃ かぞく かんしゃ じぶん たす  
実際、“感謝”とは、祈りでもあります。神様に感謝する、宇宙に感謝する、家族に感謝する、自分を助けてくれる

ひと かんしゃ じぶん なに ひと かんしゃ じぶん じしん かんしゃ かんしゃ わたし  
人に感謝する、自分に何かをしてくれる人たちに感謝する、自分自身に感謝する。すべてに 感謝するとき、私たちの

こころ ほんどん あんてい ゆた くに かんさま め みえ せんざい かんしゃ いの  
心はどんどん安定し、豊かになっていきます。特に、神様という目に見えない存在に感謝するのは、祈りそのものです。

そして、それらに対する感謝の言葉を、毎日 口にするによって、私たちの心は穏やかに平和になっていき、周りの

ひと たい あい たいおう ことば まいにち うち わたし こころ おだ へいわ まわ  
人に対しても、愛のこもった対応ができるようになります。すると、それだけでどんどん 良いことが起こってくるのだらう

おも  
と思います。

ただ、何か良いことを引き寄せようとして、神様に感謝するのは、やっぱり少し問題があるかもしれません。何かを

きたい かんしゃ かんしゃ ころ そこ おも かんしゃ いの はどう たか  
期待して感謝するのではなく、心の底から「ありがたい」と思って感謝の祈りをささげるとき、波動はぐっと 高くなります。

なに きたい かんしゃ いの じつげん かんしゃ い じゃしん  
何かを期待して感謝の祈りをささげるのは、それが実現しなかったら感謝しません、と言っているようなものであり、邪心

があるからです。何かを引き寄せようなどとは思わずに、ただ感謝の祈りをささげることこそが、幸せをもたらすのです。

ときどき かんしゃ もんだい かいけつ あと かんが なん きん しがんでき みかた  
時々、感謝は問題が解決した後ですものだと 考えることがあります。それは何と近視眼的な見方でしょう。

あめ かみ かんしゃ にじ まのぞ じんせい おお みす  
雨を神に感謝せずに、虹を待ち望んでいるようでは、人生においてどれほど多くものを見過ごしていることでしょうか。

なや くる かんしゃ きも も じぶん お じょうきょう よろこ いみ しんこう め きょう  
悩み苦しんでいるときに感謝の気持ちを持つとは、自分の置かれた状況を喜ぶという意味ではなく、信仰の目で、今日

しれん さき み いみ ぐちさき こころ かんしゃ かんしゃ こころ い  
の試練の先にあるものを見るという意味です。口先だけではなく、心から感謝するのです。そのような感謝は、心を癒やし、

おも ひろ  
思いを広げてくれます。

自分の置かれた状況にあって神に感謝するとき、わたしたちは艱難の中で、穏やかな安らぎを味わうことができます。

かな なか ころ たか かみ さんび いた なか あがな よろこ  
悲しみの中で、なお心を高めて神を賛美することができます。痛みの中でも、キリストの贖いによって喜ぶ

ことができます。つらい悲しみがもたらす寒さの中で、天に抱かれたかのようなぬくもりを感じることができます。そして、

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい」(Iテサロニケ 5:16~)といわれます。

じぶん お じょうきょう かんしゃ かみ しんこう おこな あらわ かみ しんらい  
自分の置かれた状況にあって感謝するとは、神への信仰を行いに表すことです。それには神を信頼し、まだ

み しんじつ まのぞ もとめ よげんしゃ すべ も おも ご  
見ていない真実のことを待ち望むことが求められます。預言者ヨブは全てを持っているように思われましたが、その後、

すべ うしな つぎ い はだか はは たい で はだか かえ しゅ あた  
全てを失いました。それでも次のように言いました。「わたしは裸で母の胎を出た。また裸で……帰ろう。主が与え、

しゅ と しゅ な はほむべきかな」と。

このような感謝の精神は、周りで起こっているあらゆることを超越します。それは失望や落胆や絶望に勝るものです。

こおり おお ふゆ ふうけい なか なつ きも よ あた ませつ おな うつく はな さ  
氷で覆われた冬の風景の中でも、夏の気持ち良い暖かな季節と同じように美しい花を咲かせます。

感謝する対象は、なにも人である必要はありません。「今日1日健康に過ごせたことに感謝」「頑張った自分にありがとう」でも良いのです。脳はポジティブな思考や感情を受け取ることによって、人生もよりよく幸せになると思います。2020年を乗り越えて、感謝いたします。そして、2021年に向かって、感謝しながら神様のみ手に全てお委ねいたしましょう。

**新型コロナウイルスの感染が拡大しております。くれぐれも、お気をつけてお過ごしください。  
感染対策へのご協力 いつもありがとうございます。**

- ミサ当日、自宅にて 熱を測ってきてください。熱のある方・風邪症状のある方など、体調がすぐれない方は、無理をしないでお休みください。ご家族に体調がすぐれない方がおられるときも同様に、ミサの参加をお控えください。

高齢者・病人・基礎疾患のある信者、これらの人の介護や治療にあたる信者は、主日のミサに与る義務は免除されます。

- 浜寺教会では

- 1、主日のミサは8時30分～・10時30分～、の2回です。
- 2、平日のミサは、毎週火曜日9時～です。
- 3、換気のため、すべての窓・出入口は開放したままにします。寒い日でも換気は必要です。ご自分で調節できるよう上着、ひざ掛けなどをご持参ください。
- 4、水分が必要な方は各自ご用意ください。
- 5、必ず **マスクを着用** して下さい。忘れた方は係りの者にお声をかけてください。
- 6、**< 教会へ来られたら… >**

- ① 体温測定をさせていただきます。
- ② 献金・維持費・一粒会献金(第2日曜)・支援募金など  
ミサ前にそれぞれの箱に入れてください。ミサ中に堂内献金の箱は回しません。
- ③ せっけんで手を洗ってください。
- ④ アルコールで手指消毒をします。
- ⑤ 配布物 (リーフレット・浜っ子・時報など) … 係りの者より受け取ってください
- ⑥ 一人ひとりの間隔をとるようにして座ります。(カードで記しています)
- ⑦ 先唱者が代表して祈ります。声に出さず、心の中で 一緒にお祈りください。

- 7、**< ミサ後… >**

各ミサ後、消毒作業や清掃を行います。9月より、オスバン液を使用しています。

肌にもやさしく、手袋装着の必要がありません。2度拭きの必要もありません。

トイレ掃除と、聖堂掃除機掃除は、交互におこないます。詳しくは掲示されている表をご覧ください。

これまでより、時間短縮されています。**一人でも多くの方のご協力をお願い致します。**

- 8、通夜・葬儀・病者訪問などは、司祭にご相談ください。

## <<主のご降誕と 新年のお慶びを申し上げます>>



降誕夜半ミサは、2回ともに多少の空席があったものの、夜の寒さに耐えながら、飼い葉桶の幼子イエスに心に向けて、新たな一步を踏み出せるよう祈りました。ろうそくの灯りがあたたかく、苦しみの中でこの日を迎えた方々のために、この温もりを分けてあげたい気持ちになりました。

昨年は、たくさんの我慢とたくさんの初試みを重ねた2020年でした。知恵を出し合い、協力し合い、共同体の繋がりを感しました。ありがとうございました。今の状況で、なかなかお会いできない方も多くいらっしゃいます。今後もまだまだ不安が多いですが、希望を持って、どうかお元気でこの困難を乗り越えましょう。2021年、一日も早く、皆が笑顔で、共に集う時間を取り戻すことが出来ますように、神様に心をあわせて祈りましょう。



## <<馬小屋完成！ありがとうございました>>



2週にわたるベトナム青年たちの作業で、見事な馬小屋が完成し、毎晩、美しく主の降誕を祝い輝いています。青と赤に点滅するライトはプラスチックのコップで作られたものでした。すごい！！



## <<いずみブロック 待降節 黙想会 12月6日>>

コロナ禍にあって、ブロック信徒が集まって、直接 松浦謙司祭の お話を聞くことは叶いませんでしたが、「録画」という試みで、画面越しに私たちに「信仰・希望・愛」について、語って下さいました。25名ほどの参加でした。今、わたしたちに出来ることは、神に信頼して、どんな状況下でも希望を持つこと、医療従事者や労働者など、苦しみの中にある人々のために、聖霊の助けを求めながら祈ることです。神様はいつも共にいて下さっています。



## <<洗礼を待っています…。 12月20日>>

12月27日 ミサの中で 水上 淳さんが、**受洗**のお恵みをお受けになります。勉強もなかなか出来ない状況でした。待ちに待った日も、もうすぐですね。たくさんのお祈りを願います。



## <<成人式を迎える方々へ>>

1月10日(日)10時30分 のミサの中で、お祈りとお祝いをいたします。是非ご参加くださいませ。

### ※お知らせとお願い

- 2月14日(日) ベトナムの旧正月にあたります。コロナの状況がどうなっているかわかりません。例年のように、「ベトナム料理でお祝いを…」とはいかないかもしれません。代わりに……ベトナムでも凧揚げをするそうです。日本の凧と競演できたら……と計画しています。凧作りやらの準備が始まりましたら、皆様、ご協力くださいませ。
- (財務より) 2021年4月のご復活までに、**維持費袋**の更新作業が始まります。社会人になられた方、新世帯を作られた方、是非 維持費納入にご協力ください。教会の建物も信徒も加齢傾向です。どうぞ支えてくださいませ。教会にいられていない方の維持費袋抹消の受付も致しております。
- 毎月第2日曜は、**一粒会献金**の日です。日本の神学生や高齢で引退された司祭・修道者を支える費用になります。年に2回、まとめて教区へ送金しています。ご協力お願い致します。

